

診療科の ご紹介 泌尿器科

泌尿器科部長 吉水 敦

Q 開業医や専門病院との医療分担について教えてください。

A 基本的には、当院で専門的な検査をしたうえでお薬を長期間飲む必要のある患者さんは開業医の先生方と連携していき投薬はそちらにお任せし、定期的な検査は当院でというかたちを考えています。泌尿器科は手術をする科ですので、尿路結石と前立腺肥大症は患者さんが希望されれば当院で責任を持って手術をして治すということを目指しています。がんと診断された患者さんについては、原則的に専門病院である県立がんセンター新潟病院へ紹介させていただいています。

Q 当院で行っている主な手術や治療について教えてください。

A 尿路結石と前立腺肥大症の手術が多いです。尿路結石に関しては体外衝撃波結石破碎術(ESWL)を行い、ESWLで破碎できない結石やESWLだけでは治療が難しい大きな結石は内視鏡手術で石を取っています。ESWLでの治療が難しく内視鏡手術が必要な患者さんが県内各地から紹介されてきます。

前立腺肥大症に関してはホルミウムレーザー発生装置を使ったHoLEP(ホルミウムレーザー前立腺核出術・経尿道的レーザー前立腺切除術)という手術を行っています。

Q 最後に読者の皆様にメッセージをお願いします。

A 泌尿器科の病気の中には薬では治らず手術をした方が患者さんもスッキリするものがあります。手術といっても内視鏡を使った手術は患者さんの負担も昔の手術より少ない場合が多いです。当院で行っている内視鏡手術の中でもHoLEPは、今まで手術が難しかった大きな前立腺でも安全に治療できるすばらしい手術法です。従来の治療法では手術が難しかった大きな前立腺肥大症の患者さんも一度相談にいらしてください。また車田医師が得意な腹腔鏡手術も開腹手術と比べ術後の回復が早く患者さんに大変喜ばれていますのでお勧めできます。

前立腺肥大症のおはなし

Q 前立腺肥大症とはどんな病気？

A 高齢男性に多い病気です。前立腺は男性にしかない臓器で精液の成分を作る働きがあります。膀胱から尿を出す尿道というくたが出ていますが、その膀胱側に尿道を取り囲むようにして前立腺は存在しています。前立腺の尿に面している部位にこぶが出来てそれが尿道を圧迫するために様々な症状を起こします。それが前立腺肥大症です。

Q 自覚症状はありますか？

A 残尿感が常にある・排尿回数が多くなる・尿が途中で止まる・我慢できないような尿意が出現する・排尿の勢いが無くなる・排尿時に力む・夜間頻回に排尿に起きる・全く膀胱に貯まった尿を出せなくなる(尿閉といいますが)などの症状があり最悪の場合、腎不全の状態になることもあります。

Q 治療法は？

A 薬物療法と手術療法があります。こぶが尿道を圧迫して様々な症状をが起こすと考えられていますので、完全に治すためには手術療法が必要です。ただ悪性の病気ではないので症状が軽い場合や手術を希望しない場合は薬物療法で不快な症状を改善することは可能です。

Q どんな手術がありますか？

A 以前は電気メスを使用した経尿道的前立腺切除術(TUR-P)が主流でしたが、保険診療内での一番いい手術はHoLEP(ホルミウムレーザー前立腺核出術・経尿道的レーザー前立腺切除術)と思います。当院では昨年約150例の手術を行っていて良好な治療成績を修めています。

ドクターの 健康講座 Q&A